

みずのわ

学校だより
【第11号】
令和4年1月11日(火)
石巻市立石巻小学校

【謹賀新年 ～心新たに～】

年新た 心新たに つつしみて 山口青邨

新年明けましておめでとうございます。

今年は、石巻地方には珍しく、雪化粧での元旦となりましたが、皆様には、健やかな年を迎えられたこととお慶び申し上げます。本年も御支援、御協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。

さて、私事ですが、毎年、元旦には、様々な場所で初日の出を見ることにしており、今年は、東松島の大曲浜で、海に棚引く雲間からお天道様を拝むことができました。

今の世の中、いつなんどき何が起こるのか予想がつきにくく、そして、起こることと言えば、良くないことが圧倒的に多く、そう考えると、絶対的存在である太陽でさえも必ず顔を出してくれるとは限らないのではないか。こんなことさえ思ってしまう中、今年も、当たり前のように顔を出してくれたお天道様には、「ありがとう」と感謝の気持ちで手を合わせるしかありません。

もし、お天道様が顔を出さなかったら・・・そう思うと恐ろしい限りです。生きとし生けるものは、太陽が昇ってこそそのものと、今年も感謝の思いで初日を拝みました。

ところで、これまた私事になりますが、寅年生まれの私は今年が年男ということになります。ものの本には、「寅年生まれの人は、情熱的で成功するまであきらめない強い意志をもっている反面、単独行動を好み、冷静さに欠ける面がある。」と書かれていました。

そこで、山口青邨(やまぐち せいそん、1892～1988年、岩手県出身の俳人、鉱山学者)の句です。

猛虎みたいに猛り狂い暴走することのないよう、情熱はもちつつも「つつしみ」を忘れることなく、この一年、子供たちの明日の幸せのために日々尽力しようと心を新たにしました次第です。

3学期は、登校日数が48日(6年生は46日/5年生は49日)です。再び新型コロナウイルスの感染が拡大しておりますが、校内での対策を取った上で、まとめの学習をしっかり行い、力を付けて進学・進級できるよう、職員一同、精一杯頑張っております。

(校長/川田知宏)



高橋 星良 作